

## 「パソコン」のメンテナンス2

普段使っているパソコンもメンテナンスが必要です。  
パソコンの定期的なメンテナンスをしましょう。

### 【Windowsのアップデート】

「WindowsUpdate」とは、Windowsの不具合や欠陥（セキュリティホール）をマイクロソフトが対策を行って、インターネット上に無料提供されている修正プログラムをダウンロードして、自分のパソコンにインストールすることです。Windowsを安全で安定した状態で使うには、WindowsUpdateは絶対必要です。

(Win98、Me、2000) 「スタート」メニュー 「Windows Update」を選択します。

(WinXp) 「スタート」メニュー 「プログラム」 「Windows Update」を選択します。

インターネットエクスプローラが起動して、マイクロソフトの「Windows Update」が表示されます。

「更新をスキャンする」を選択します。

「更新の確認とインストール」を選択します。

「今すぐインストール」を選択します。

「同意する」を選択します。

ダウンロードが開始され、ダウンロードが終了すると、自動でインストールを行います。

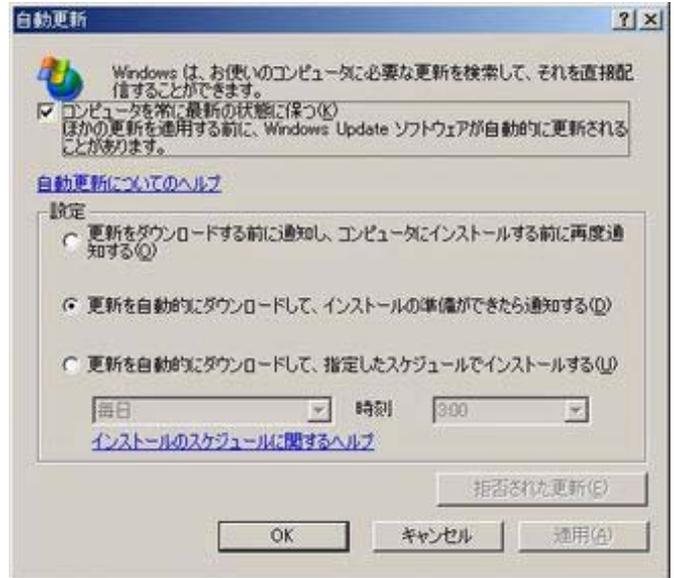
「重要な更新とServicePack」は必ずインストールしましょう。

OSによっては自動でWindowsUpdateを行うように設定できるので、必ず設定しましょう。

Windows2000の「自動更新」設定方法



「スタートメニュー」 「設定」 「コントロールパネル」 「自動更新」を選択します。



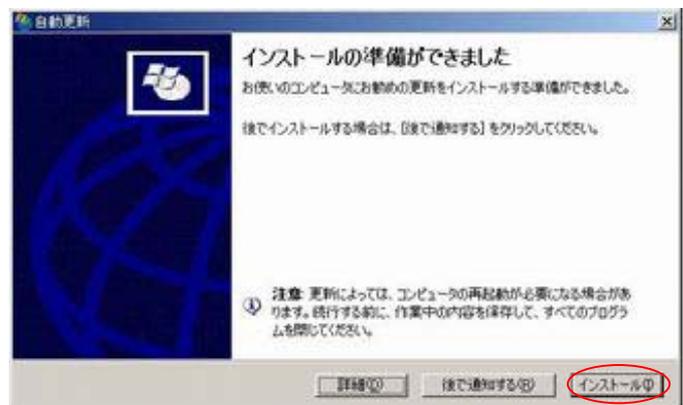
「コンピュータを常に最新の状態に保つ」にチェックを付け、「OK」ボタンを押下すれば終了です。

**WindowsXpは、標準で自動更新されます。**

パソコンを起動後、画面右下に「ダウンロードが終了しました。インストール」



クリックします。



「インストール」ボタンを選択します。  
完了のメッセージが表示されれば、終了です。

## 懐かしい「給食」が静かなブーム



<給食レストラン>アルマイト食器で「懐かしさ」売る

「懐かしいもの」が人の心をつかむこの時代、昭和30、40年代の給食が人気らしい。アルマイト製の食器で給食を食べさせる店が増え、昔ながらの揚げパンを売る専門店も登場。給食の「懐かしさ」の正体を探したレポートです。

鯨の竜田揚げ1260円

小学校時代、給食は苦手だった。鼻をつまんで飲んだ牛乳。カレーシチューに浮いていた肉の脂身。ほとんどトラウマである。

「全部食べる」と居残りを命じた先生の名前は今でもフルネームで言える。許せないし、忘れない。

大人になっても給食を食べたがる人の気持ちを知りたくて、東京都台東区のレストラン「給食当番」に出かけた。

驚いた。外は炎天下。平日の昼下がりなのに店内はほぼ満員。客たちはアルマイト製の食器を楽しげに抱えている。意外なことに客のほとんどが20代だ。若い身空で「懐かしーい」を連発している。

写真入りのメニューを見た。「ソフトめん」は袋入りのまま皿に乗っていた。まぼろしの「鯨の竜田揚げ」は1260円。「本当にまずかった脱脂粉乳(だっしふんにゅう)」(210円)まであった。これ、注文する人はいるのだろうか。

取りあえず「給食セット」なるものを注文した。揚げパン、カレーシチュー、冷凍みかん。子供時代の給食のゴールデンコンビだ。飲み物は牛乳とミルメークのコーヒー味にした。ミルメークは給食ファンの間では人気商品。主に粉末で、牛乳に混ぜればイチゴミルク味になったり、コーヒー牛乳味になったりする。これなら牛乳嫌いでも大丈夫。

早速「給食セット」がやってきた。久しぶりに先割れスプーンとご対面だ。カレーシチューには生クリームときざみパセリがかけてある。ウソだ。給食はこんなにおしゃれじゃなかった。思わず動揺しながら、肉の脂身を探してしまった。ない。ほっとしたような、残念なような.....。

カレーシチューはとてもおいしく、それでいてちょっと懐かしい、妙に胸に染みる味だった。

「初恋の彼女」のように

給食は1889(明治22)年、山形県の小学校で貧しい家庭の子供におにぎりや漬け物を昼食に出したのが最初だとされている。戦後の47年、米国から譲渡された脱脂粉乳で「ミルク給食」がスタート。54年には学校給食法も制定された。

地域差はあるが、脱脂粉乳は60年後半、牛乳にとって代わられた。君は脱脂粉乳を飲んだか が40代の思い出を二分しているわけだ。76年には米飯給食も登場。食器もアルマイト製からプラスチック製や磁器に変わった。

「給食当番」店主の方伊儀隆雄(かたいぎたかお)さん(41)が店を開いたのは13年も前の話だ。コック修行10年の後、「よそで絶対に食べられない味」を模索した結果が給食だった。狙うは昭和30、40代の懐かしの味。だ。「ホンモノの給食よりおいし過ぎるって? そりゃそうです。『初恋の彼女』と同じで少々美化させてます。おいしいけど懐かしい、そのギリギリの味を模索してきました」

牛乳の早飲みヒーロー

さて、給食セットである。

食べ進めるほどに、給食の暗い記憶より、得体の知れぬ懐かしさのほうが勝ってくるから不思議だ。四半世紀ぶりに冷凍みかんの皮をむく。凍える指先の感覚がよみがえる。その瞬間、遠い記憶があふれだした。

嫌なことばかりではなかった。鯨の竜田揚げもチーズかまぼこも好物だった。牛乳を飲む友達を笑わせるのは楽しかった。床じゅうを牛乳だらけにして先生に怒られた。夏の教室では、いつも誰かがマーガリンの銀紙包みを踏んづけ、転んだ。残したパンを持ち帰るせいでランドセルはコッペパンのにおいがした。母は堅くなったパンを粉にしてハンバーグをつくってくれた。牛乳をこっそり代わりに飲んでくれた男の子もいた。名前だって覚えている。牛乳の早飲みが得意な彼は、給食の時間だけヒーローだったっけ。食べ終わったとき、なんだかとっても大切なものを思い出した気がした。給食の記憶が少しだけ温くなった。

こちら小学校の給食室です!

<http://www.nikonet.or.jp/~kana55go/>

東京もんじゃ村(通販「なつかしい給食」、あげぱん屋「給食おばさん」)

<http://www.din.or.jp/~monja/>

### ~ 編集後記 ~

今回の給食の記事は、自分自身が読んでいた懐かしく思ったので、貴方にも読んで欲しいと思い掲載しました。

給食を話題にして話をするので何を食べたかで年代がに違いが判ります。私自身、小学校の低学年まで脱脂粉乳を飲んでいて記憶があります。このレポートに書いてあるように確かに不味かったです。給食で一番好きだったのは揚げパンでした。毎月1回くらいしか食べられなかったのが、給食に揚げパンが出ると嬉しくて仕方なかった記憶が蘇ります。あなたの給食の思い出は??

記 奥村芳崇